

「2023春季生活闘争勝利！統一地方選挙勝利！政策・制度要求実現！」
長崎地区総決起集会

!!! 暮らしをまもり、未来をつくる !!!



連合長崎高藤会長

連合本部
山根木副事務局長国民民主党長崎県連
西岡代表立憲民主党長崎県連
白川副代表社民党長崎県連合
坂本幹事長集会アピール採択
女性委員会 久保田幹事ガンバロー三唱
連合長崎地協塩田議長

連合長崎と連合長崎地域協議会は、共催で3月11日（土）10時30分から「旧県庁跡地」にて「2023春季生活闘争勝利！統一地方選挙勝利！政策・制度要求実現！」長崎地区総決起集会を行いました。今年は新型コロナウイルス感染症が一定程度落ち着いたことから、コロナ禍前の決起集会の形式で開催し、構成組織、政党関係者など約650人の方々にご参加いただきました。

冒頭、12年前の同じ日に発生した東日本大震災で亡くなられた方々へ会場の全員で黙祷を捧げました。

続いて、主催者あいさつで連合長崎高藤会長は、「本日は東日本大震災から12年となる日。未曾有の被害をもたらした、今なお避難生活を余儀なくされている方々も多く居る、復興も道半ばである。その様な日の集会であるため、開会冒頭に犠牲になられた方々の御霊に『黙祷』を捧げさせていただいた。

この日本でもここ最近、地震や風水害など自然災害が多発しているが、海外では1カ月前のトルコ・シリ

ア地震で、約5万2000人の犠牲者と約200万人の方々が避難を余儀なくされている。連合は、そういった状況を受けトルコ・シリア地震に対する緊急支援カンパを行っている。

さて、本集会の本題となる『春季生活闘争』と『統一地方選挙』について、まず春季生活闘争については各産別の方針に沿って、それぞれの単組においても要求書を提出されている。物価上昇によって私たちの生活は厳しい状況であるため、今年の春闘では連合が掲げる『5%』を目標に各単組での粘り強い交渉を行い、『賃上げ』を必ず勝ち取らなければならない。

しかし、この長崎は中・小・零細企業が多く、物価上昇で必要経費もかさみ『賃上げ』が困難な企業も少なくない。また、2024年問題と言われる労働時間の本格運用により、企業目線で見ると更に厳しさに拍車をかける。日本や長崎県を支えている中小企業は、日本全体で約7割。このまま中小企業の厳しさを放置す

ると、日本の未来はない。世界情勢が日本経済に直接影響を与える今日において、今回の春闘は、一企業に任せる範囲を超えているため、子育て支援などと同じ様に、国を上げた中小企業の支援が必要である。

また、この『春闘』の取り組みによって、賃上げの社会的気運を高め、組合が無い企業にも波及させるとともに、公務で働く仲間や地域別最低賃金の向上にも繋げていきたい。

次に、政治活動の取り組みについて、連合長崎では、政治活動を取り組みの大きな柱の一つと捉えている。私たちが目指す『働くことを軸とする安心社会』を実現し、生活の向上をはかるためには、民意を国会や各自治体に届け、各種施策に反映させなければならない。そのために、各自治体への要請行動や広報活動、そして選挙活動など、各種活動を展開している。

その中でも特に、選挙活動は、私たちと想いを同じくする議員を多く輩出し、税金の有効な使い方や行政方針に国会や各級議会で反映してもらうためにも、重要な位置づけであると考えている。間近に迫った統一地方選挙は、そうした『地方での生活の安心』と『次期国政選挙に向けた土台作り』のためにも重要な選挙である。

この長崎市選挙区は、県議選・市議選とも候補者が乱立し、票を取り合う厳しい戦いになるため、最初に選挙がある県議選から、準備を万端に全力で取り組む必要がある。また、長崎市・佐世保市においては首

長選挙も施行される。

私たちは、今次地方選において県下全体で、県議9名・市議19名・町議3名と、長崎市長選で『鈴木史朗』氏。佐世保市長選では、『宮島大典』氏の推薦を決定した。政策・制度実現のためには、何としてもこの推薦候補者33名全員の勝利を勝ち取らなければならない。

各組織において、候補を推薦した重みを組合員の皆さんにしっかりと伝えて頂き、正に、全員一丸となる県下全体の取り組みを展開して、私たちの責任を果たし、勝利を掴み取りたい。」と力強く挨拶しました。

その後、推薦する各政党からご挨拶をいただき、第20回統一地方選挙において連合長崎が推薦する立候補予定者の紹介を行い、連合長崎女性委員会による集会アピール、連合長崎地域協議会の塩田議長による団結ガンバローを行い、総決起集会を終了しました。

集会終了後には、参加者全員による街頭アピール行動(デモ行進)も行い、賃上げの社会的気運醸成に向けPRを行いました。

物価高やコロナ禍で傷んだ暮らしにより苦しい状況が続いていますが、連合長崎、地協、構成組織が一丸となり、2023春季生活闘争勝利と統一地方選挙勝利、政策・制度要求実現に向け、総力を結集した取り組みを進めましょう!

すべての働く者、家族の幸せのために、すべての働く人たちの処遇改善のために、そして私たちの「くらしをまもり、未来をつくる」ため、一致団結ガンバロー!



協会けんぽ長崎支部より加入者の皆様へ、保険料率変更のご案内

令和5年3月分(4月納付分)以降

健康保険料率

10.47% → 10.21%

介護保険料率

1.64% → 1.82%

※ 任意継続被保険者の方は、令和5年4月分(4月納付分)から保険料率が変わります。
 ※ 40歳から64歳までの方には、健康保険料率に全国一律の介護保険料率が加わります。

各都道府県支部の保険料率は、加入者の皆様の医療費に基づいて決定されます。健康づくり等の推進により医療費の伸びを抑えることができれば、保険料率の上昇も抑えることができます。皆様のご理解とご協力をお願いします。

加入者お一人おひとりの取り組みが
 保険料率の上昇を抑える大きな力になります。



お手元の保険証をご確認ください!
 協会けんぽの保険証(水色)
 保険証の下、保険者名称欄に記載されている支部名が、ご加入されている支部となります。

全国健康保険協会 長崎支部
 協会けんぽ

<https://www.kyoukaikenpo.or.jp/>

電話:095-829-6000(代表)
 (受付時間/平日 8:30~17:15)

〒850-8537 長崎市大黒町 9-22 大久保大黒町ビル本館 8階

◆詳しくは、協会けんぽHPをご確認ください。

協会けんぽ

検索

2023春季生活闘争総決起集会宣言

われわれは、生活困窮者支援と、賃上げの社会的機運の醸成をはかる取り組みとして、「賃上げ実現・くらし支援 あしたを変える連合緊急アクション」を全県下で展開してきた。この思いを「賃上げ」という形にするため本集会を開催し、2023春季生活闘争を最後まで粘り強く闘い抜き、とりわけ中小企業およびパート・有期・契約等で働く労働者の賃上げをすすめ、さらに労働組合のない職場で働く仲間にも大きなうねりを広げていく決意を改めて確認した。

ほぼ40年ぶりとなる物価高のなか、多くの組合が賃上げを中心とする「人への投資」にこだわった要求を提出し、現在、その要求に沿った回答を引き出すべく、精力的に交渉を進めている。

「人への投資」が低迷し、雇用・労働条件の向上が置き去りにされてきた結果、わが国の経済と賃金は20年以上にわたり停滞している。この現状から賃金も物価も経済も安定的に上昇する姿へとステージを変えていかねばならない。そのターニングポイントとなるのが「2023春季生活闘争」であり、私たち労働組合がけん引役となり賃上げを勝ち取る必要がある。

あわせて、連合がめざす「働くことを軸とする安心社会ーまもる・つなぐ・創り出すー」の実現に向け、私たちの求める政策・制度要求への取り組みを強力に推進していくために、目前に迫る統一地方選挙において連合長崎が推せんする候補予定者全員の当選を勝ち取ろう！

2023春季生活闘争はヤマ場を迎える。

労使は社会的責任を果たすため、今こそ答えを出す時である。組合員はもとより、すべての働く仲間の「くらしをまもり、未来をつくる。」のが今次闘争である。

この断固たる決意をもって、組織の総力を結集し、最後の最後まで、ともに闘おう！

2023年3月11日

2023春季生活闘争勝利！統一地方選挙勝利！政策・制度要求実現！
長崎地区総決起集会

今こそジェンダー主流化の加速を!



増本女性委員長挨拶

3月11日(土)14:30～長崎県勤労福祉会館において、3.8国際女性デー長崎集会を開催いたしました。

この3.8国際女性デー長崎集会は、「連合長崎ジェンダー平等推進計画 フェーズ1」にて策定した「Change / 達成目標」の一つである「ジェンダー平等に関する理解を深めるための学習会」として実施しているものです。

今年の3.8国際女性デーのテーマは、戦前から戦後

にかけて、女性たちを生きづらくしていた社会の壁に立ち向かった山川菊栄さんのドキュメンタリー映画を通して、過去から学びそして今を生きる私たちに何ができるのかをともに考える場として実施いたしました。

冒頭、連合長崎女性委員会増本委員長は、「2022年世界経済フォーラム発表のジェンダー・ギャップ指数において日本の順位は146か国中116位といまだ主要先進国の中で最下位。私たちの身の周りを見ると、男女平等が進んだと思うところも、もちろんあるが、まだまだ育児や介護は女性に大きな負担がかかっていると感じる。これは、『男は仕事、女は家庭』といういわゆる性別役割分担意識が日本に根強く残っていることの現れだと思う。また、コロナ禍の中で、多くの女性が解雇や雇い止めに伴う経済的困難、また学校や保育所などの休校に伴う家庭負担の増大に直面し、男女平等がまた遠のいたともいわれている。

今日の映画でご覧いただく山川菊栄さんが生きた戦前から戦後は、産休・育休などの制度はもちろんなく、賃金も男性のほうが高いのは当たり前といった状況で女性たちは働いていた。山川菊栄さんをはじめ、たく



さんの人たちが女性の権利のために立ち向かった結果として、いまの私たちが享受している権利がある。変化が速い今の時代に生きる私たちが、昨日・今日のことだけでなく、100年ぐらいのスパンで見て、今生きている時代はどんな時代なのか、これから私たちに何ができるのかを今日の集会を通して考えていただければ」と挨拶しました。

参加者からは「男女共働きは賃金が少ないことから始まっただけではなく、女性解放の運動の成果でもあるのだと気付かされた」、「声を上げないと何も変わらないというのは本当にそうだと思った。」、「ジェンダー

指数の低い日本を何とか向上させるため、身の回りからできることを頑張ろうと思う。」という意見が寄せられました。

連合長崎では、今後も、女性委員会を中心にジェンダー主流化の加速とジェンダー平等社会の実現をめざして取り組んでまいります。



国際女性デーとは？

1857年3月8日、米国のニューヨーク市で被服工場や繊維工場に働いていた女性たちが抗議行動を起こしました。彼女たちは非人間的な労働条件と低賃金に対して抗議の声を上げたのです。警察は抗議者たちを襲撃しましたが、2年後の3月、彼女たちは初めて労働組合を結成して自らを守り、職場における基本的権利を獲得することに努めました。

1908年3月8日、15,000人の女性が労働時間の短縮、賃上げ、選挙権、児童労働の廃止を訴えて「パンとバラ」のスローガンを掲げ、ニューヨーク市内をデモ行進しました。パンは賃金や労働条件などの経済的安定、バラは女性の尊厳として生活の質の向上を示しています。

1910年コペンハーゲンで開催された「第2回国際会議婦人会議」で、ドイツのクララ・ゼトキが、「米国の被服労働者のストライキを記念する日を国際的な性格をもつ女性デーとして、世界の女性たちが一致して毎年、男女平等と平和のための行動をおこすこと」を提起し、17カ国から参加していた100人を上回る女性たちの満場一致の承認を得て採択されました。そして、この「国際女性デー」は、選挙権を含む女性の権利のための運動の栄誉を称える日として確立されたのです。

連合では、1996年から春季生活闘争の統一行動として、全国の仲間と共にこの行動に取り組んでいます。

「けんぽのいっぽ！」 さらに充実、一步先へ！協会けんぽの「健康づくり」事業

令和5年4月から、協会けんぽの生活習慣病予防健診等の自己負担が軽減されます。

最高 7,169円 → 最高 5,282円

※35歳～74歳の被保険者（ご本人）の方が、一般健診を受けた場合の金額です。

健診を受けた後の行動こそが大切です！
治療や精密検査が必要な場合は、早期に医療機関を受診しましょう。

協会けんぽの生活習慣病予防健診は

血圧測定 血液検査 心電図検査 便潜血反応検査
胸部レントゲン検査 胃部レントゲン検査 尿検査

メタボリックシンドローム とともに

5大がん 肺 胃 大腸 子宮 乳房 までカバー！

※子宮頸がん検診、乳がん検診は、別途自己負担が必要です。



全国健康保険協会 長崎支部

協会けんぽ

<https://www.kyoukaikenpo.or.jp/>

電話：095-829-5002

(受付時間/平日 8:30~17:15)

〒850-8537 長崎市大黒町9-22 大久保大黒町ビル本館8階

協会けんぽ けんぽのいっぽ 検索

◆ 詳しくは協会けんぽホームページをご覧ください。

集会アピール

本日、私たちは山川菊栄の思想と活動「姉妹よ、まずかく疑うことを習え」のドキュメンタリーDVDを鑑賞し、戦前から戦後・現代まで続いている「なぜ女性は生きづらいのか」について考える機会を得ました。

世界的には、意思決定過程に女性がいる光景が決して珍しいものではなく、むしろ、意思決定過程に女性がいない光景の方が、奇異の目で見られる社会になっています。

一方、日本ではそんな当たり前の光景がまだ多くの場所で見られないばかりか、ジェンダー主流化や、多様性を認め合う流れに逆行するような差別、人権侵害が後を絶ちません。

日本は今こそ、ジェンダー主流化を加速させ、遅れを取り戻す必要があります。性別、年齢、国籍、障がいの有無、就労形態などにかかわらず、多様性を認め、だれもが等しく力を発揮できる環境が整備され、すべての人がお互いに支え合える社会を一刻も早く実現するために、私たち労働組合も一層の努力が求められます。

3.8国際女性デーは、1857年、ニューヨークの被服工場で多くの女性が亡くなった火災事故をきっかけとして、3月8日に行われた低賃金・長時間労働への抗議行動が起源と言われています。

いま一度、そうした原点に思いを馳せながら、2023春季生活闘争の取り組みを力強く前進させていかなければなりません。

私たちは、本集会に集まった一人ひとりの行動で、すべての人たちの、人権が保障され、平等に安心して働くことのできる社会をめざし、長崎の未来をみんなで作っていきましょう。



2023年3月11日

連合長崎「国際女性デー長崎集会」

第20回 統一地方選挙

あなたの1票を
待っています

i+1 わたしプラスもう1票

連合



毎日が投票日



投票日に投票に行けない方は「期日前投票」を！

投票日に投票に行けない方は前もって投票を済ませましょう。
理由はなんでもOK! 手続きはかんたんです。

- 出張などの仕事や冠婚葬祭などの予定がある
- 旅行などの予定が入っている
- 入院や出産などでその日に投票に行けない

投票日に、急用が入ることもありますので、事前に投票しておくで安心です。

投票できる期間 告示日の翌日から投票日の前日まで

投票できる時間 8:30~20:00 ※それぞれ2時間以内の繰上げ・繰下げあり

投票場所 選挙人名簿に登録されている市区町村の「期日前投票所」

詳しくはお住まいの地域の選挙管理委員会に確認してください

県議選

告示日 3/31 4/1 から毎日が投票日→投票日 4/9
(4/8まで期日前投票ができます!)

市議選

告示日 4/16 4/17から毎日が投票日→投票日 4/23
(4/22まで期日前投票ができます!)

町議選

告示日 4/18 4/19から毎日が投票日→投票日 4/23
(4/22まで期日前投票ができます!)

2023年連合長崎 地域協議会・ブロック連絡会議 役員紹介 (2023年3月1日現在)

地域協議会名	議 長	事務局長	書 記
長崎地域協議会	 塩田 淑文 (基幹労連)	 西野 輝夢 (電力総連)	 草野いづみ (ユニオン)
長崎地域協議会 西彼北部ブロック連絡会議	 岡野 一章 (基幹労連)	 小川 寿 (自治労)	
諫早・島原地域協議会	 大木 豊 (日教組)	 入江 良美 (ユニオン)	 池田多佳子 (ユニオン)
諫早・島原地域協議会 島原ブロック連絡会議	 園田 勝朗 (電力総連)	 西田 吉宏 (J P 労組)	
大東・杵岐・対馬地域協議会	 水津紀久男 (J P 労組)	 川本 良美 (ユニオン)	 平地由紀子 (ユニオン)
大東・杵岐・対馬地域協議会 杵岐ブロック連絡会議	 斉藤弥寿孝 (自治労)	 西浦 太一 (自治労)	
大東・杵岐・対馬地域協議会 対馬ブロック連絡会議	 次川 久也 (J P 労組)	 永留 公一 (自治労)	
佐世保地域協議会	 櫻本 洋 (全水道)	 古川 洋介 (ユニオン)	 大田 昌枝 (ユニオン)
佐世保地域協議会 北松ブロック連絡会議	 家本 泰輔 (基幹労連)	 浜本 竜二 (自治労)	
五島地域協議会	 森 英樹 (電力総連)	 松山 忠敏 (ユニオン)	 大島 鶴恵 (ユニオン)
五島地域協議会 上五島ブロック連絡会議	 鉄川 信隆 (J P 労組)	 松岡 貢 (自治労)	

地協のニュースも連合長崎のホームページに掲載をしています。
ぜひ、各地協の活動に注目ください！

連合速報へのご意見・ご感想はこちらまで → t-nishino@nagasaki.jtuc-rengo.jp